

組織強化拡大と総選挙を勝利させる

＝ 福島県社会民主主義フォーラム第4回定期総会 ＝

2月4日第4回県社民フォーラム役員会が開催され、福島県社会民主主義フォーラム第4回定期総会を3月23日開催することを確認した。

福島県社会民主主義フォーラムが設立されて3年が経過し、その間「護憲・平和・原水禁、衆参院選挙、そして昨年は、自治体選挙を闘い」社民フォーラムとしての役割と存在を示すことができた。

第213回通常国会が開催されていますが、自民党の裏金問題が明らかになり国民の税金が「裏金」として何に使われたのかも明らかにしていません。

勤労国民は、物価高や実質賃金の低下によって「生活出来ない」状態にされている。

3月15日から「確定申告」がはじまりましたが、勤労国民からは1円もまけずに徴収している。

2月14日の福島民報新聞は、「事件・事故ファイル」に「スーパーで64歳が食料品(750円)を盗んで逮捕」「スーパーで29歳がおにぎり二個(340円)盗んで現行犯逮捕」という記事が掲載されていた。

一方自民党議員は、政治活動費として二階元幹事長は、任期中5年間で50億円、松野元官房長官は、辞める2週間(12/1~14)で官房秘密費を、4,660万円を用途不明のまま支出していた。

盗みは、悪いことではあるが、340円のおにぎりで逮捕(340円が払えない生活)されたが、3,000万円以下の裏金については、告訴しても東京地検は「立件」しないのである。政治不信は益々拡大するし、こんなことが許される訳がない。

今総会は、自公政権の「戦争政策と大企業優先政策」によって、私たちは「平和と生活」が脅かされている中で「平和と生活」を取り戻すための何をするかを決める重要なものです。

今年は必ず総選挙が行われますので、自民党を過半数割れに追い込む闘いにをしなければなりません。そのために立憲民主党候補者を当選させなければならない。

このためには、社民フォーラムの組織の強化拡大が必要でありますので総会に成果を持ち込みましょう。

福島県社会民主主義フォーラム第4回定期総会告示

＝日時:3月23日(土)10:00~15:00＝

場所:ラコパふくしま

議題

- 一、2023年度活動報告と総括
- 二、2023年度地方議員団活動報告
- 三、2023年度会計決算報告
- 四、会計監査報告
- 五、第一号議案(2024年度活動方針)
- 六、第二号議案(選挙闘争方針)
- 七、第三号議案(2024年度財政方針)

八、第四号議案(役員改選)

総会の持ち方については、福島県社会民主主義フォーラム運営細則第一章総会に基づいて行います。

代議員数については、組織人数割とします。(第4回役員会確認)

戦争に金使うな！生活に金使え！

2月6日毎月勤労統計（賃金統計）が発表された。それによると2023年12月の実質賃金は、前年同月比で1.9%減少し、21カ月連続である。2023年の実質賃金は、前年比で2.5%の減少である。2020年を100とした場合2023年は97.1となり100を下回っている。

労働組合（連合）は、5%以上の賃上げを要求しているが、インフレ（物価高）がこれを上回れば実質賃金は減少し生活はよくなる。ならない。

実質賃金の増加を獲得するには、インフレの鎮圧と物価抑止が重要である。労働者の賃上げなくして日本経済は成長しない。そのため政府や財界も含めて賃上げを進めている。

2022年に始まったロシアによるウクライナ侵攻は終わりが見えず、中東では、イスラエルによるパレスチナ自治区ガザへの攻撃が激しさを増している。

戦乱は、資源・エネルギー価格の高騰という形で世界経済に深刻な影響を与えている。

特に、資源を輸入に頼る日本では、電気・ガス料金やガソリン代の上昇に直結し

ているので暮らしへの打撃が深刻になっている。

これに輪をかけているのが円安の進行で、主な要因は、米国が過熱する経済に対応するため金利を引き上げてきたのに対し、日本は安倍晋三内閣以来の金融緩和、低金利政策を継続している。日米間の金利差が広がり、ドルが買われている。

資源・エネルギーの高騰と過度の円安で物価はみるみる上がり、アベノミクスの後遺症である。私たちは、日々の買い物で、価格上昇だけでなく、内容量の減少などで物価高に直面し生活を脅かしている。

しかし、防衛力の抜本的強化を目指す岸田文雄首相は、関連予算を含む防衛費を27年度に国内総生産（GDP）比2%に倍増させるため「軍拡増税」（税制改正大綱）と24年度予算案を閣議議決定してしまった。

自民党の裏金（脱税）問題を解決せずに「増税」を認めるわけには行かない。

岸田内閣は、「戦争に金を使うな！生活に金を使え」である。

戦争準備を止めなければならぬ！

＝ 第19回憲法をいかにする県民の会総会 ＝

2月10日（土）福島県青少年会館に於いて「第20回憲法をいかにする福島県民の会総会」が開催されました。

今総会は、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルによるガザ地区攻撃で緊張が高まる世界と岸田首相の「任期内に国会発議」所信表明や安保関連三文書の閣議決定、軍備増強増税など戦争準備が進む中で、戦争準備を止めさせるための運動を広め止めさせる。今回は、総会の中に「基調講演」を

入れ情勢認識を参加で共有した。最後に総会アピールを採択した。

参加者は、150人で社民フォーラム関係は40名が参加した。ご協力ありがとうございました。



県民第20回憲法の会総会 2/10

をいかに

2024原発のない福島を！県民大集会

日時：3月16日（土）13:00 場所：パルセイルいざか